Toyota Municipal Museum of Art
Press Release

豊田市美術館　プレスリリース

2024.05.04

Toyota Municipal Museum of Art
豊田市美術館



1　《写像球体を持つ手》1935年、リトグラフ
M.C. Escher Foundation Collection, The Netherlands
All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com

エッシャー　不思議のヒミツ

ESCHER, BEHIND THE PARADOX

2024年7月13日［土］ー 9月23日［月］

開館時間：　午前10時ー午後5時30分［入場は午後5時まで］

休館日：　月曜日［7月15日、8月12日、9月16日、23日は開館］

会場：　豊田市美術館　展示室6,7,8

主催：　豊田市美術館、NHK名古屋放送局、NHKエンタープライズ中部

共催：　中日新聞社

協力：　ルフトハンザカーゴAG

企画協力：　アルテミジア、M.C.エッシャー財団、マウリッツ

制作協力：　NHKプロモーション

観覧料：　一般1,700円［1,500円］／高校・大学生1,200円［1,000円］／中学生以下無料

［　］内はオンラインチケット、前売券及び20名以上の団体料金

＊前売券（7月12日まで）：豊田市美術館、オンラインチケット、T-FACE B館2階インフォメーション、メグリア11店舗（取扱店舗：本店、エムパーク店、セントレ、藤岡店、三好店、若園店、志賀店、朝日店、井上店、はなぞの店、うねべ店）

＊豊田市美術館、T-FACE、メグリアの営業日、営業時間は、各店舗ホームページをご確認ください。

観覧料の詳細及び減免、割引等については美術館ウェブサイトをご確認ください。

開催趣旨

同時代のアートのみならず過去の美術からもインスピレーションと影響を受けたマウリッツ・コルネリス・エッシャー（1898−1972）は、幾何学的な構成と厳密さを追求して、視覚芸術の本質に迫る作品を生みだしました。多才で先進的なこの芸術家は、幻視的イメージや錯視を用いた作品で独自の芸術世界を創造した存在であったと言えます。エッシャーが自身の独創的な世界を形づくる鍵を見出したのは、数字や幾何学、数学の世界においてだけではありません。奇想の天才として、芸術的言語を幅広く駆使し、それらを融合させて魅力的な新しい道を切り開いたのです。この点で、エッシャーは美術史における例外的な存在であり、幅広い層の人々の関心を惹きつけてやまない人物だと言えます。

本展では、エッシャーがサミュエル・イェッスルン・ド・メスキータに師事していた頃のアール・ヌーヴォーにインスピレーションを得た作品をはじめ、イタリア滞在時代の作品も含めた約160作品を展観します。あわせて、エッシャーの不思議な世界に入り込むことができるさまざまな体験展示が会場のあちらこちらに用意されています。それらによって、エッシャー作品の根底にあり、新しい世代のあらゆる分野の芸術家に刺激を与え続けている数多くの遠近法的、幾何学的、構成的パラドックスと能動的に関わるという、貴重な機会を提供します。

展示予定作品

159点

巡回情報

滋賀会場　佐川美術館 2023年12月14日［木］〜2024年2月25日［日］〈会期終了〉
富山会場　富山県美術館 2024年4月27日［土］〜 6月30日［日］

関連事業

会期中、記念講演会等の開催を予定しています。
予定、日程等の詳細は美術館ウェブサイトにてお知らせします。

作家について

マウリッツ・コルネリス・エッシャー（Maurits Cornelis Escher 1898−1972）、オランダの版画家。レーワルデンに生まれ、ラーレンで歿。デルフトの工科学校で学んだ後、ハールレムの建築・装飾学校へ移り建築を、その後すぐに版画を学びました。卒業後にイタリアに旅したエッシャーは、その後も同地を訪れ、初めのうちはイタリア風景を題材にした精緻な描写による版画を作っていました。その間、スペインに旅行した際にグラナダのアルハンブラ宮殿を訪れ、そのアラベスクによる装飾に注目し、動物や爬虫類、昆虫などを様式化させた形態によって画面全体を規則的に埋め尽くす抽象的、幾何学的な作品を作り始めます。やがてそれを深化させ、図と地の関係や、平面による描写と見かけの立体性との関係における錯視効果をねらった作品を生み出しました。概念と視覚のずれをとおして不条理な空間の知覚を喚起する作品は、神秘的、幻想的な雰囲気を持ち、SF世代の若年層に人気を博し、やがて世代を超えて広がるとともに、数学の専門家からも注目されました。

展覧会構成

本展は、初期作品に始まり、テーマごとに6つの章で構成されています。

第1章　デビューとイタリア



ハールレムの建築・装飾学校でアール・ヌーヴォーの版画家サミュエル・イェッスルン・ド・メスキータに認められたエッシャーは、版画の技術を着実に向上させていきました。卒業後に旅行し、その後も滞在したイタリアでの修業時代に芸術家としての個性を確立させ、初の個展も当地で開催しました。本章では、イタリア各地の風景や自然、歴史がエッシャーの創造力を刺激して作られた作品、また生活の拠点となったローマの風景画など紹介します。

2　《スカンノの街路、アルブルッツィ地方》1930年、リトグラフ　Maurits Collection, Italy
All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com

第2章　テセレーション（敷き詰め）

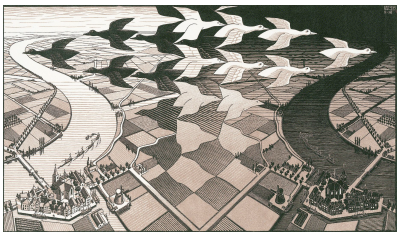


1922年、エッシャーはスペインを旅し、グラナダのアルハンブラ宮殿を訪れました。その装飾文様に刺激を受けたエッシャーは、それらを模写し、そこから得たインスピレーションをもとに独自のテセレーションを作り上げます。第2章では、エッシャーのキャリアにおける転機となった、それらの作品を紹介します。

3　《平面の正則分割 III》1957年、木版　Maurits Collection, Italy
All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com

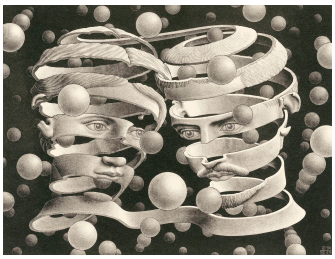
第3章　メタモルフォーゼ（変容）

テセレーションというテーマとも強い関連があり、エッシャーの作品のもう一つの重要なテーマは、ある形が別の形へと変化していく様子が描かれるメタモルフォーゼです。大作《メタモルフォーゼII》では、オランダ語の「metamorphose（変容）」に始まり、鳥、トカゲ、ハチの巣、聖堂、チェス、ハチ、魚、そして「metamorphose」へと自在に変容する様子が表されています。



4　《昼と夜》1938年、木版　Maurits Collection, Italy
All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com

第4章　空間の構造

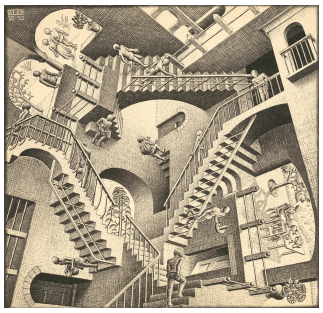


5　《婚姻の絆》1956年、リトグラフ
Maurits Collection, Italy
All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com

空間の構造もエッシャーの関心の対象でした。鏡上の面を扱った「反射面」、深い奥行きの印象を作り出そうとした「空間の構造」、平面状のひもが入り組んだ表面を作り出す「リボン」、シンプルな多面体が重なり合い複雑な空間を作り出す「幾何学的立体」など、さまざまなモチーフ、テーマから生み出された作品を紹介します。

第5章　幾何学的なパラドックス（逆説）

二次元である1枚の紙の上の平面図形によって三次元的な視覚の印象を得ること、あるいは、三次元上ではありえない構造を二次元上につくり出すこと。さまざまな手法を駆使して見る人に強い印象を与えるこれらの作品は、数学の専門家たちからも注目されました。エッシャーの空間のパラドックス、まさに「不思議のヒミツ」が詰まった作品を紹介します。



6　《相対性》1953年、リトグラフ
Maurits Collection, Italy
All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands.
All rights reserved mcescher.com

第6章　依頼を受けて制作した作品

他の芸術家たちと同様に、エッシャーも依頼を受けて作品を制作することが少なからずありました。蔵書票、グリーティング・カード、挿絵などです。このような小さな仕事で、後の大きな作品に取り入れるアイデアを試していた面もあるのです。

展覧会のみどころ

（1）初期から晩年までの代表作を網羅し、エッシャーの全容を知るまたとない機会です。

学生時代に制作した作品にはじまり、「だまし絵」的な代表作はもちろんのこと、晩年に至るまで約160点の作品をとおしてエッシャーの画業の全容を紹介します。中でも、故郷のオランダを離れイタリアに滞在した時代の作品は豊富で、エッシャーが20 ～ 30代という修行時代に制作した作品には、幾何学的な形態や強調された遠近法、建築の複雑な構造に対する関心など、後の作品のルーツを見出すことができます。

（2）テーマごとに分かれた展示で、エッシャー作品の特徴を分かりやすく鑑賞できます。

エッシャーが示した関心の対象は幅広く、反復や循環、螺旋構造、反射する面、幾何学的立体など、多くの事象を探究し、その成果を作品へと昇華させました。本展では、テーマごとに作品を展示することで、エッシャーが何に関心を抱き、そしてそこから何を目指そうとしたのかを明らかにします。エッシャーの特徴が明快に伝わる展示構成になっています。

（3）体験コーナーで、作品に仕組まれた「不思議のヒミツ」を楽しみながら体感できます。

本展では、エッシャー作品の世界観を疑似体験することができる体験コーナーがあります。どのような原理で人は錯覚に陥るのか。エッシャーが作品に取り入れたトリックについて、実際に体験しながらその仕組みを学べます。自らエッシャーの「不思議のヒミツ」を体感することで、より深くエッシャー作品を理解できます。作品を見て、体感して、展覧会を楽しめます。



お問合せ

豊田市美術館　〒471-0034　愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1
HP:https://www.museum.toyota.aichi.jp　　e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

- 展覧会に関すること　学芸担当：北谷、成瀬　Tel 0565-34-3131
- 掲載依頼・取材等に関すること　庶務担当：加藤、大柳（おおやなぎ）　Tel 0565-34-6748

エッシャー　不思議のヒミツ
広報用画像について

Toyota Municipal Museum of Art
豊田市美術館

当館ウェブサイト**「広報用画像ダウンロード」申込みフォーム**より、ご希望の画像を申請してください。
「広報用画像ダウンロード」の画像提供サービスは、パソコンでのみダウンロード可能となります。
パソコンからのお申し込みが難しい方は、以下を記入のうえ、Faxでお送りください。

送り先：豊田市美術館　庶務担当　加藤、大柳（おおやなぎ）
Tel 0565-34-6748 Fax 0565-36-5103
e-mail:bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

お名前　　様　　ご所属

Tel　　Fax

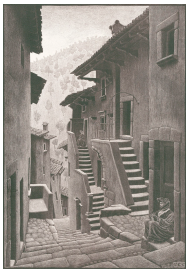
e-mail　　必要な画像等の番号

掲載紙／メディア名　　発売、放送予定日　　月　　日（　　月号、vol.　　）

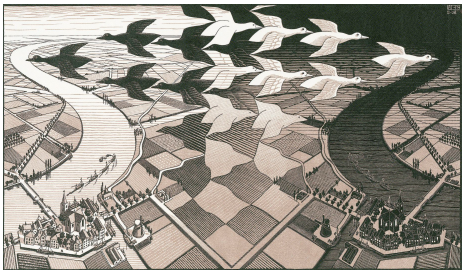
必要な観覧券枚数（最大5組10名分）　　枚　　観覧券の送付先　〒

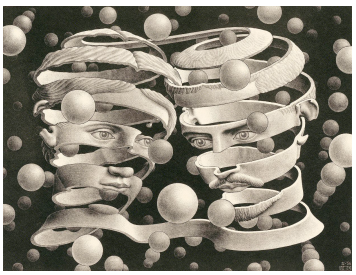
＊読者プレゼントのため等、希望する場合のみご記入ください

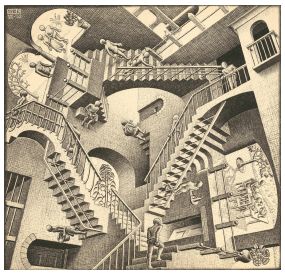

1


2


3


4


5


6


7


8

1-6　各画像のキャプションは1-4ページを参照してください。

7　《物見の塔》1958年、リトグラフ　Maurits Collection, Italy　All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com

8　《滝》1961年、リトグラフ　Maurits Collection, Italy　All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com

・全ての作品にクレジット（All M.C. Escher works © 2024 The M.C. Escher Company, Baarn, The Netherlands. All rights reserved mcescher.com）を必ず添えてください。
・作品写真のトリミング、文字のせはご遠慮ください。
・ご紹介いただく場合は、情報確認のためお手数ですがゲラ刷り等をお送りください。
・情報掲載後、献本または公開後の報告をお願いします。
・本展でご使用後は各メディアの責任をもって画像データを削除及び破棄してください。

美術館使用欄　　画像提供の依頼日　　年　　月　　日　　□画像送付 □校正 □修正 □配信・配本